

平成二十四年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	日本語試験

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

平成二十四年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	日本語試験

(福岡伸一『生物と無生物のあいだ』2007年 講談社現代新書 169ページ～172ページによる)

*出題の都合上、文章の一部を加工している。

問1 傍線部①～⑤の漢字の読み方を答えなさい。

- ①血眼() ②座布団() ③尚()
 ④予め() ⑤凹凸()

問2 傍線部(ア)(イ)のカタカナを漢字で書きなさい。送り仮名のある場合、送り仮名部分は平仮名で書きなさい。

(ア)オソウ() (イ)エガ()

問3 波線部①～⑦の意味をわかりやすく説明しなさい。

- ①最大手
 ②投函
 ③すべ
 ④必須
 ⑤アーティスティック
 ⑥一義的
 ⑦鳥瞰的な視点

平成二十四年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座	日本・アジア言語文化論
専門科目2	日本語試験

問4 「二重波線部(ア)」「(エ)」を別の語に置き換えるとする時、どれが適切か、括弧の中から選択しなさい。

- (ア)弊社 (A)当社 B貴社 C御社
 (イ)提供させて頂いております(A提供いたします B提供になっています C提供なさいます)
 (ウ)あります (Aいらつしやいます Bございます Cおられます)
 (エ)いかなれば (A換言すると B言いたいことは C万が一言ったならば)

問5 以下の語A～Fは問題文に関連する語である。この中から「二重波線部(ア)」「ジグソーパズルの定法」と同じ方法に関連するものを選択しなさい。

- A「絵柄のないジグソーパズル」 B「やのまん」社の方法 C「鳥瞰的な視点」
 D「神の視座」 E「無地のジグソーパズル」 F「透明なジグソーパズル」

問6 (波線部(A))「どのような機械によつていかなる方法で切り出されているのか」について、あなたが想像する「機械」と「方法」を具体的に400字程度で説明しなさい。あなたの説明の日本語や記述力を確認する問題ですから、実際の「機械」と「方法」に一致するかしないかは考慮する必要はありません。

問7 この章のタイトルは「絵柄のないジグソーパズル」となっています。本文の主旨を「絵柄のないジグソーパズル」で始まる200字程度の文章でまとめなさい。

*解答にあたっては、解答用紙に問の番号を明記し、どの問題に対する解答か、はっきりわかるようにして書きなさい。

(以上)